

デジタル技術を活用した新たな販売モデルの試行
～中小企業向け商品のデジタル完結型モデルの開始について～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、2021年12月23日(木)から、中小企業向け商品「超ビジネス保険」をオンライン上で試算・お申込みいただける新しい販売モデルを試行します。

DXの一層の推進により、代理店による付加価値の高いリアルな顧客接点と、デジタル技術の活用による快適な顧客体験のベストミックスを追求し、中小企業をお守りする新しい価値提供モデルを目指してまいります。

1. 背景

中小企業は日本経済の基盤であり地域経済を支える存在である一方、大企業に比べると、新種保険など事業活動を取り巻くリスクに対する備えが十分に普及していない現状にあります。

近年では、「新型コロナウイルス」や「サイバーリスク」などの新しいリスクも台頭しており、中小企業においても、これらの複雑化・多様化するリスクに備える必要性が日々高まっています。

また、コロナ禍の影響やデジタルネイティブ層の増加により、近年は保険の加入方法に関してもお客様のニーズが多様化しています。

当社はこれまで、個人のお客様向けに「オンライン商談手続き」を開発・導入するなど、お客様の様々なニーズにお応えする販売体制を代理店とともに強化してまいりましたが、中小企業向けの商品については、オンライン上での保険料シミュレーションやご契約の申込み手続きを実施いただける仕組みはありませんでした^(※)。

これらの現状や課題の解決に向けて、今般、飲食業と情報通信業のお客様を対象に、オンライン上で保険商品を試算・お申込みいただける新しい販売モデルを試行することとしました。

※個別の団体様向けにご提供しているものを除きます。

2. 取組み・システムの概要

当社は、2021年12月23日(木)に、中小企業向け商品「超ビジネス保険」をオンライン上で試算・お申込みいただける専用サイトを試行的にリリースします。

事業活動を取り巻く各種リスクについて、数問のご質問にお答えいただくだけで保険料のシミュレーションが可能であり、お客様のニーズに応じて必要な補償を選んでご加入いただけます。

具体的には、コロナ禍の影響が特に大きい飲食業のお客様向けに、新型コロナウイルス感染者の発生等によって休業した際の休業損失に備える補償をご提供するほか、情報通信業のお客様向けに、サイバー攻撃を受けたことにより発生する原因調査費用や情報漏えいによって生じる賠償責任に備える補償等をご提供します。

専用サイトでは、中小企業が備えるべきリスクについてわかりやすい補償プランの表示や操作画面をご提供します。専用サイトURLからパソコンで画面に入る他、スマートフォンでQRコードを読み取ることで、ワンステップでのアクセスが可能であり、お申込み手続きも24時間いつでもオンライン上で実施いただけるため、多忙な中小企業経営者の皆様にとっても簡便にご利用・検討いただける点が特徴です。

<専用サイト・画面イメージ>



【トップページ】



【保険料シミュレーション】



【補償内容のご説明】

3. 今後について

本試行を通じて得られた知見をもとに、顧客体験の一層の向上など新しい価値提供モデルを創造し、代理店とともに中小企業の皆様をお守りしていきます。

また、将来的には、様々なデータを活用し、企業分野におけるデータドリブンな新商品・サービスの開発にも繋げてまいります。

Powered by **dRIVEN**

「dRIVEN」はデータ・テクノロジーの活用を通じて新たな価値をご提供し、様々なリスクからお客様・地域社会をお守りする保険商品シリーズです。

※ 2021年11月25日 データドリブン商品「dRIVEN」シリーズの展開

https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/l6guv3000000dnu9-att/20211125_dRIVEN_j.pdf

以上